

の南九州

第 24 号
平成25年11月20日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



知覧中学校体育大会

荒茶加工施設費・財産購入費など補正	… 2
条例制定・改正	…… 5
24年度一般会計・特別会計決算	…… 6
一般質問13人が登壇	…… 8
市民の声	…… 16

費など補正

9月定例会

9月定例会は、9月3日から9月27日までの25日間の会期で開催されました。
補正予算をはじめ、南九州市子ども・子育て会議条例の制定、24年度決算認定など、原案どおり可決されました。

一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、茶業振興費、南九州市土地開発公社の解散に伴う財産購入費など、3億9006万3千円を追加し、補正後の予算総額を219億1544万4千円としました。

総務費

○一般経費（公有財産購入費）
1億9160万円

南九州市土地開発公社の解散に伴い、公社が所有する完成土地（宅地）を購入するための経費である。

○企業立地推進事業費
4540万円

南九州市企業立地促進補助金交付要綱に基づく設備投資補助金及び雇用創出補助金を新たに計上するもので、三豊機工（株）エヌチキンに対する補助である。

審査の中で

問 雇用創出補助金については、地元から5人以上を3年間雇用することが要件となっているが、離職者により要件を欠いた場合は。
答 地元から補充して雇用するよう促していくが、できなかった場合は返還させなければならない。

○平和基金費
983万2千円

平成24年度決算に伴い、知覧特攻平和会館の使用料収入の未積立金額を平和基金に積み立てるものである。

○市民音頭制定普及事業費
281万4千円

南九州市市民音頭制定のための委託料である。

民生費

○保育士等処遇改善臨時特例事業費
2118万6千円

保育士の人材確保対策を推進する一環として、保育士の処遇改善に取り組む私立保育所へ資金補助を行うもので、本市の子育て環境の推進を図るものである。

審査の中で

問 臨時職員の保育士も対象になるか。
答 臨時職員の保育士も対象になるが、社会福祉法人などの役員である職員については対象外である。

○児童扶養手当関係費
137万5千円

児童手当受給者等が増える見込みであることから、扶助費を増額するものである。

衛生費

○国民健康保険事業特別会計繰出金
2054万7千円

平成24年度の医療費に対する国からの交付分が超過していたため、その返還にかかる資金不足分を国保会計へ繰り出すものである。

○老人保健事業費
123万1千円

24年度に受領した老人保健医療費の第三者損害賠償金の精算のため、本年度で支払基金等へ返還するものである。



立地企業の三豊機工（株）



勉強会中の保育士

荒茶加工施設費・財産購入

農林水産業費

○荒茶加工施設費

1億1661万1千円

事業採択された4事業主体の荒茶加工施設を整備するもので、財源は県補助金である。

○強い農業づくり交付金事業費

5650万5千円

鶏肉処理施設の中抜きライン、排水浄化槽などを整備するもので、財源は県補助金である。

○産地づくり対策事業費

337万5千円

南九州市農業公社の大豆コンバイン導入に伴うもので、財源は県補助金



導入予定の大豆コンバイン

○かごしま園芸産地整備事業費

1404万9千円

(株)アグリストちらんにニンジン選果・選別機一式を整備するもので、財源は県補助金である。

○基幹水利施設管理事業費

▲1602万2千円

南薩畑かんの基幹水利施設管理事業の工事請負費で県補助金の予算割当額が減額されたこと等によるものである。

○担い手育成対策事業費

1373万4千円

経営体育成支援事業の国からの配分で、地域の中心的経営体が導入する機械等に係る補助金が主なものである。

○活動火山周辺地域防災営農対策事業費

▲1425万2千円

市内法人におけるトラクター等の導入が補助事業として採択されなかったことから、減額するものである。

商工費

○観光地Wi・Fisポット整備事業費

209万5千円

観光客の利便性向上のため、市内の観光地に屋外で利用できるWi・Fisポットを整備するもので、県補助事業を活用し整備するものである。

＜審査の中で＞

問 6力所に設置する計画となっているが、今後増設する考えは。

答 観光客からの要望が多くみられるようであればその都度増設したい。

○観光施設管理費

35万9千円

県事業の魅力ある観光地づくり事業で、大川地区にトイレが新設されることに伴い、維持管理に係る委託料などを増額するものである。

土木費

○街路整備事業費

801万7千円

知覧武家屋敷観光施設整備事業が、地域振興推進事業に採択されたことに伴い、工事請負費を増額するものである。



釜蓋神社近くに建設中のトイレ

＜審査の中で＞

問 トイレ清掃の委託先の選定は。

答 まずは地元自治会に相談したい。

教育費

○学校共済住宅費（一般経費）

132万9千円

松原小学校校長住宅の雨漏り改修工事及び校長、教頭住宅個別受信機設置に要する経費である。

○外国語指導助手設置費

▲103万9千円

外国語指導助手が継続雇用となったことから不用額を減額するものである。

○地区公民館管理運営費

39万円

知覧校区公民館ホールの排煙窓の補修に要する経費である。



松原小校長住宅



埋蔵文化財の調査

○埋蔵文化財緊急発掘調査事業費

18万7千円

県営土砂崩壊防止事業などに伴う試掘調査において、使用する重機の借上料及び燃料費を増額するものである。

特別会計

国民健康保険事業

○医療費適正化特別対策事業費

84万4千円

訪問指導用公用車燃料料代や保健事業サービス業務用備品購入費などである。

後期高齢者医療

○一般会計繰出金

103万3千円

24年度繰越金のうち広域連合へ納付すべき額を差し引き、一般会計へ精算返戻するものである。

○後期高齢者医療広域連合納付金

260万2千円

出納整理期間中に収納するなどして繰り越された、平成24年度保険料を広域連合へ納付したため、同額の負担金を増額するものである。

○介護給付費準備基金積立金

198万3千円

介護保険事業特別会計の前年度精算後、残金を基金に積み立てるものである。

○一般会計繰出金

2390万7千円

繰越金のうち介護給付費などの市の負担金を精算し、一般会計へ繰り出すものである。

簡易水道事業

○建設改良費

194万3千円

青戸簡易水道地域の配水管移設工事請負費などである。

介護保険事業

○償還金

1768万7千円

前年度精算に伴い、国・支払基金及び県へ返還するものである。

条例の制定・改正

市住宅団地合併処理浄化槽 の設置及び管理

南九州市住宅団地合併処理浄化槽の 設置及び管理に関する条例

知覧みずほ住宅団地合併処理浄化槽について、南九州市土地開発公社の解散に伴い、市が条例を設け管理しようとするものです。

市住宅団地合併処理浄化槽 分担金徴収

南九州市住宅団地合併処理浄化槽 分担金徴収条例

南九州市住宅団地合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の制定に伴い、この条例を制定するものです。



知覧みずほ団地合併処理浄化槽

鹿児島県家畜導入事業実施 要領に基づき

南九州市肉用牛特別導入事業基金 条例の一部を改正する条例

南九州市肉用牛特別導入事業基金について、国費分の国への返還が決定し、今後は、鹿児島県家畜導入事業実施要領に基づき運営することに伴い、所要の改正をするものです。

市営墓地の設置

南九州市営墓地の設置及び 管理に関する条例

南九州市土地開発公社の解散に伴い、知覧墓地公園を南九州市営墓地として管理するため、この条例を制定するものです。



知覧墓地公園

私債権管理

南九州市私債権管理条例

南九州市の保有する私債権に関し、事務の処理について統一的な管理の基準その他必要な事項を定めることにより、公正かつ公平な市民負担の確保を図るため、この条例を制定するものです。

子ども・子育て会議を設置

南九州市子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援法第77条第1項に基づく
※合議制の機関として、南九州市子ども・子育て会議を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるため、この条例を制定するものです。

※合議制とは、執行機関の意志が複数の合議によって決定される制度。

財政改革を！

現年分市税徴収率 98.72%
それでも累積市税滞納額
1億6,800万円

平成24年度一般会計と特別会計及び企業会計決算認定が9月定例会に上程されました。
議会では、一般会計決算特別委員会と特別会計決算特別委員会を設置し、監査委員の決算審査意見書と当局から提出された資料をもとに、当局の出席を求め審査し、いずれの決算も認定しました。

健全で弾力性のある財政運営を要望

一般会計

予算現額	227億6,015万8,150円
収入済額	215億6,762万2,937円
不納欠損額	1,167万7,311円
収入未済額	4億7,820万1,556円
支出済額	209億6,731万3,679円
実質収支	5億879万7,258円

収入未済の主なものは、国県補助金の次年度受入に係るものが2億9536万4千円、市税、保育所負担金、住宅使用料及び市有地貸付料に係る滞納額が1億8283万7556円であり、法に基づき厳正な対応をとるよう要望する。
一般会計決算特別委員会としては、今後も行財政改革を進める中で、健全で弾力性のある運営に努めることを強く要望する。

総務費

問 合併前の未登記の処理が進まない理由は。
答 平成14年の法改正により、事務処理が複雑化し時間を要している。
問 拠点間バスと生活交通バスの利用状況は。
答 一日の平均乗車数は、拠点間バスが39人、生活交通バスが44人である。
問 ひまわりバスを鹿児島交通の定期路線バスと連携する計画はないか。
答 連携については、調査を実施している。

衛生費

問 各種がん検診で早期発見の事例があるか。
答 23年度は、大腸がん6人、胃がん5人、乳がん3人が早期発見に繋がった。

民生費

問 南九州市シルバー人材センターの地域別会員数は。
答 25年3月末で川辺253人、知覧96人、頰娃娃54人である。



作業中のシルバー会員

農林水産業費

問 茶流通拠点施設の整備計画は。
答 24年度が基本計画策定、25年度が茶流通拠点施設整備の検討、26年度が整備年度である。

土木費

問 道路愛護作業に比べ河川愛護作業の方が厳しい作業と思うが、報償費単価を見直す考えはないか。
答 道路愛護作業の単価1㎡当たり20円は、面積換算で3㎡分となっており、1㎡当たり約7円となることから単価を見直す考えはない。

審査の中で

○登記事務は、年数が経過すると困難になることから、登記事務体制の充実を図り、最大の努力を要望する。
○事業においては、多額の不用額が発生していることから、予算計上に当たっては、事業積算等の精査を徹底するように。予算編成及び執行に当たっては、事業内容、執行時期を十分把握し、安易に予備費充用や予算流用を行わないようとの意見が出された。

24年度 決算認定

更なる行

特別会計

国民健康保険事業

歳入総額は63億9620万1534円で前年度と比較すると1・45%の増であり、国保税の収入未済額は1億9754万5034円で1・44%の減である。歳出総額は63億7289万8796円で、そのうち保険給付費は43億3301万5664円、前年度と比較すると3640万7878円の増額である。

問 国保税徴収率の動向は。

答 現年課税分は0・05ポイント増、滞納繰越分は0・18ポイント減、不納欠損処分を60世帯分640万6319円としている。

問 人間ドックの助成制度は。

答 通常の1日・2日ドックに加え、24年度からPET、PET/CT、脳ドックの3点を追加している。

〔審査の中で〕

医療費については、被保険者が減少しているにも関わらず、医療費の総額は増加しており、国保財政はひっ迫している。なお、一般会計からの※法定外繰入1億3千万円は国保以外の住民との公平性に欠けることから、法定外繰入が不要となるように、医療費の削減等に努力するようとの意見が出された。

※ 法定外繰入とは、法令に定めてあるもの以外で、決算の補てん等へ充てるために、必要に応じて一般会計から国保会計に繰り入れを行うもの。

後期高齢者医療

〔審査の中で〕

負担の公平性の確保は重要であるため、収納率向上と収入未済額減少のため、支払い能力のある滞納者については、差し押さえ等を含め厳正なる対応をとるよう要望する。

介護保険事業

居宅介護サービス給付費は受給件数2万583件で前年度と比較して921件増加している。要介護3が15%、要介護4が22%と大幅に増加したことが要因である。

地域自立生活支援事業費は、ひとり暮らし等で日常生活を営むのに支障があると認められた者に対し1日2回、配食サービスを行う事業で、延べ3570人にサービスを提供している。

問 安否の確認は。

答 弁当の回収時に残食で確認し、場合によっては声掛けをして安否の確認や食生活の改善に努めている。

簡易水道事業

問 水道施設管理図作成事業は。

答 頤娃地域の簡易水道、飲料水供給施設において水道施設管理図が整備されていないことから、4簡水と3飲料水供給施設の水道施設管理図を作成するもので26年度まで作業を継続するものである。

農業集落排水事業

24年度における加入戸数は447戸、接続人口は前年度と比較すると34人減の1062人となっている。

水道事業

問 川辺地域の料金体系を知覧地域の体系へ統一したことで料金がどのようになっただか。

答 一世帯当たり約2900円が15000円と半額程度に下がっている。

問 24年度の経営実績は。

答 総収益3億180万4593円、総費用2億9340万3222円で差引840万1371円の純利益である。

〔審査の中で〕

水道事業を取り巻く環境は、給水件数の減少や送・配水管の老朽化等による修繕費の増加など厳しい状況ではあるが、独立採算による健全運営の維持に努めるとともに、環境問題が注目されていることから、今後も水質保全に十分配慮し、安全・安心な水の供給に努めるようとの意見が出された。



整備された嶽地区水源地

が聞きたい!

13人が
登壇

いっぱん質問



蓮子 幹夫 議員

浜田 地域振興のための物流の円滑化は重要な課題であり、広域農道南薩東部地区は全線開通の早期実現と地域の安全を守るうえで本線が災害に強い路線であると思う。長崎自治会と結ぶ避難道路整備も必要と考えるが、今後の計画を問う。

市長 広域農道の一部未



浜田 茂久 議員

避難道路

整備の考えは

市長／来年度施行予定

整備区間については、平成26年度整備の完成を目標に鋭意努力している。長崎自治会の避難道路は、今年度調査設計、来年度施工を予定している。

額娃准看の存続の考えは

教育長 民間移管を含め存続の可能性を模索

浜田 医療福祉環境の変化に伴い、人材の育成が急務とされるが、閉校となった県立保健看護学校の再興・活用と市立額娃

議会中継

予算計上の考えは

市長／議会が必要であれば予算措置する



避難道路として整備が待たれる市道

准看護学校の存続についての考えは。

市長 県立保健看護学校跡地については、有効な活用策を検討するよう平成21年11月13日付けで要望をしている。

教育長 額娃准看護学校

は、指導教官や実習先の確保など、存続が極めて困難な状況下にあり、県に学生募集中止の申し出を提出した。今後は、時間の許す限り民間移管等による存続の可能性を模索したい。

蓮子 議会の意思決定の過程や個々の見解を議会中継放送により市民に情報提供するとした場合、施設整備に予算計上する考えはないか。

市政のここ

予防接種

相互乗り入れを行う考えは

市長／平成26年度に向けて実施していく



菊永 忠行 議員

菊永 予防接種は、法に基づき、乳幼児から高齢者を対象に実施するとなつていますが、各種予防接種率と県内医療機関での相互乗り入れの見解を問う。

市長 平成24年度の定期予防接種率は、概ね80%から90%台となつていく。BCGの接種率は91%

であるが、一部の種類については、60%台のものもある。定期予防接種は市内での接種を原則としており、相互乗り入れは本市に住所のある対象者について、医学的理由などにより機会を逃した方、かかりつけ医または主治医が住所外にいない方などを対象に例外的に接種する機会を確保するための措置で、県医師会の協力のもと行う事業である。

本市として平成26年度から相互乗り入れを実施するにあたり、医療機関に説明を行っている。医



師会として特に意見がない場合は、県医師会と委託契約を締結し実施していく。



公民館への連絡道路

市長 市町村議会の本会議を生中継したり、庁舎内で放送するなど議会中継の導入が進んできており、県内19市のうち14市がこれに取り組んでいるようである。今後、議会側において、意思決定の過程など公表する手段として、放送が必要であるとすれば予算措置する。

公民館への連絡道整備を

市長／調査検討する

蓮子

地区公民館から国道へのアクセス道の整備は重要である。別府地区公民館の連絡道は危険と感じるが見解を問う。

市長 通学路でもあることから整備は必要と考えている。整備をするため

に地権者の協力体制や名義変更の可能性などを調査し検討する。

建設部長 公民館より上側の市道水成川上迫線については、JR鉄道橋区間の本格的拡幅工事は難しいが、既設側溝を暗渠型に改修することで幅員の拡幅が可能かと考えている。

看准娃娃

学校の存続は

教育長／極めて困難



伊瀬知 正人 議員

ある病院の確保が難しく、外部講師の確保も厳しい状況にある。また、専任教員として必要な長期研修を受講しなければならない。さらに、国においては看護師養成への移行支援を勧めている状況であり、存続は極めて困難と考えている。

伊瀬知 26年度末で学校閉鎖となった場合、市内医療機関や地域に深刻な影響を与えると思うことから、存続に向けた施策を展開することが重要と考えるが見解を問う。

教育長 近年は南九州市出身の入学学生も少なく、卒業後に市内医療機関に就職する者も減少してきている。市内医療機関や地域に多少の影響はあるが、存続するためには多くの困難なハードルを越えなければならない。最も大きな要因は、実習先の確保が非常に困難で、特に産科、小児科の



看護学校看准娃娃

(定員30人)

年度	受験者数	入学者数	平均年齢	市内入学者数
平成23	52人	30人	25.5才	4人
平成24	47人	30人	26.5才	11人
平成25	56人	29人	27.6才	5人

人間ドック

後期高齢者に助成する考えは

市長／制度創設に向けて検討したい



竹迫 毅 議員

竹迫 本市では、国保の被保険者には人間ドック等の助成があるが、後期高齢者には助成制度がない。県内22市町村が実施しており、高齢者ほどリスクは高く、早期発見等のためにも実施すべきと考えるが、見解を問う。

市長 人間ドックは疾病の早期発見・早期治療を

ドックの種類と補助金額

種 類	補助金額
人間ドック	25,000円以内
がんドック (PETドック・PET/CTドック)	25,000円以内
脳ドック	15,000円以内

※協定病院
厚地脳外科・南風病院
※協定病院 菊野病院

～補助金申請は、年度内にドックの1種類かつ1回限りです～

対象者

本市国民健康保険に引き続き1年以上加入している方で、30歳以上の人(受診日現在)。

交付条件

- ①指定する検査項目を満たしていること。
- ②市税等に滞納がないこと。
- ③受診後、【検査結果・領収書・特定健診質問票】を提出していただきます。
※JA経由を除く

申請方法

補助を受けようとする人は、事前に補助金交付申請書の提出が必要です。受診予定日から2週間程度の余裕をみて、保険係窓口で申請してください。受診後の申請はできませんので、ご注意ください。

【申請に必要なもの】

- ①保険証
 - ②印鑑
 - ③受診者名義の預金通帳
- ④人間ドックの検査項目が掲載された病院のパンフレット等
※JA経由を除く

駆除剤の支給手続きの利便性を

市長／今後検討したい

竹迫 ヤスデ駆除剤の支給手続きは、本・支所の

市長 近々にやりたい。

市長 現在でも自治会長

竹迫 それでは自治会長

が大変。自宅で証明書発行をお願いしてはどう

市長 今後、検討する。

西 川辺小学校の校庭にあるセンダンの大木2本の樹勢が弱っているが、学校のシンボリック大木で卒業生には思い出深い樹木である。地域社会でも貴重な存在と思うが、樹勢回復に取り組む考えはないか。



西 次雄 議員

樹木管理

学校の大木の樹勢回復を

教育長／診断結果で対策を講じたい



樹勢回復が待たれるセンダン

西 国民健康保険事業は24年度に法定外繰入を実

国保財政と医療費抑制対策は
市長／税率見直しと一般会計繰入で検討

教育長 現地調査し、検討の結果、かごしまみどりの基金事業を導入したい。この事業は9月末までの申請で、12月頃診断結果と樹勢回復施工等の古木が決定される。古木決定に該当しないときは、樹木診断結果に基づいた対策を講じたい。

実施したが、高齢化や人口減で今後も医療費は増大すると思うが、財政運営の今後の取り組みと医療費抑制対策を問う。

市長 国の医療保険制度改革等の具体的な方向性を見極めながら、今後も税率見直しと一般会計繰入の双方から検討したい。

医療費については、疾病の早期発見と早期治療、重複受診や多受診者への指導など医療費の伸びを抑える各種対策を継続して実施していく。

記憶遺産

協力体制の構築は

市長／署名協力など呼びかけていきたい



蔵元 慎一 議員

蔵元 現在、多くの観光客が来館しているが、より安全で利便性を高めるため、周辺整備に取り組む考えは。

市長 世界記憶遺産に登録された場合は、さらに来館者が増加することが予想される。大型バスを含めた駐車場の追加整備が必要と考える。併せて、雨天時のための屋根付き通路や電光表示の案内板等を整備していきたい。

その他の質問
○職員の評価

蔵元 知覧特攻平和会館の遺書等の世界記憶遺産登録に向けた地元の盛り上がりが大切だと思うが、市民への周知や協力体制の構築は。

市長 広報紙への掲載やパンフレットなどを作成する。

また、主要道路などに横断幕を設置し、市民や市を訪れる方などにPR活動を進めたい。そのほか、市民と一体となって取り組むため、市民への無料開放を実施し、署名記載所を設け、署名協力を呼びかけていきたい。



世界記憶遺産登録に向けた署名記載所

農業振興

人材確保に向けた 今後の対策は

市長／「人・農地プラン」に基づき
育成・確保に取り組んでいく



吉永 賢三 議員

吉永 農業は、高齢化や担い手不足が深刻な課題となっており、耕作放棄地を解消するため、集落営農などの取り組みも行われている。就農研修制度の現状と人材確保



実習にはげむ研修生

保に向けた今後の対策を問う。

市長 颯娃農業開発研修センターに4名、南九州市農業公社に1名研修中である。募集については、県主催の就農相談やホームページ、広報紙などを活用している。人材育成に向けた今後の対策は、農業で自立を目指す意欲ある研修生を受け入れ、市・国の各種支援事業を活用しながら、就農直後の生活の安定とスムーズな就農を助長する取り組みを行う。

また、24年度に作成した、人と農地の問題解決に向けた「人・農地プラン」に基づいて、地域の中心となる経営体に計画的な農地の利用集積を行い、永続的な農地の利活用に取り組むことにより有能な人材の育成・確保が図られていくと考える。

電気柵等の市単独助成は

市長／今後検討する

有害鳥獣



加治佐 民生 議員

加治佐 農地において、有害鳥獣による被害が多く見られるが、被害の状況と今後の対策はどのように進めるか。

また、意欲ある農家に對して、防護柵や電気柵

設置に助成する考えはないか。

市長 農作物の被害状況については、有害鳥獣捕獲申請で現地確認ができた農地での被害額は、平成24年度で82万5千円、イノシシの被害が大半である。イノシシの捕獲頭数は、平成24年度297頭で、生息頭数が増えていると考える。

防護柵や電気柵の助成

については、国の鳥獣被害対策実践事業を利用することとし、市の上乗せ助成は考えていない。

加治佐 国・県の事業は面積や組合設立などハードルが高い。単独助成を実施している市があるが、本市では考えないか。
市長 市単独の助成については、今後検討していきたい。



電気柵設置の農地

姉妹都市

北九州展の成果は

市長／関心の高さを感じた



峯 勝範 議員

峯 北九州市制50周年記念「知覧平和会館北九州展」の成果を示せ。

市長 平和連携事業の一環として、両市が平和への取り組みを積極的に推進している共通点から、二度と戦争の悲劇を繰り返さないようにとの想いで、8月2日から15日までの14日間開催した。開

催期間中の土・日曜日には「語り部」の講話も行い、整理券を配布するほど大盛況であった。期間中、世界記憶遺産登録に向けた署名記載所を設けたところ、6199名の署名があった。また、入場者数については、当初北九州市が見込んだ3千人を大幅に上回る1万7

千人が会場を訪れ、北九州市民の平和に対する関心の高さを感じた。

その他の質問

○学校給食南九州市・北九州市交流の日(仮称)

○災害応援協定

○世界記憶遺産登録申請の進捗状況



知覧平和会館北九州展語り部の講話

認定こども園

かつめ保育所の 幼保一元化は

市長／経営者の判断



亀甲 俊博 議員

亀甲 政府は、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ認定こども園の増設を促す基本指針をまとめたが、推進内容を示せ。

市長 幼保連携型認定こども園については、その普及に取り組むことが望ましいとのことである。
亀甲 かつめ保育所については、民間移管にあたり、将来認定こども園が制度化されたときに認定こども園への移行の条件はつけられないのか。
市長 保育所としてやっていきたい。

亀甲 地域から出された陳情をどのように受け

取っているか。

市長 経営者が認定こども園にしようと思えばできる施設になっている。

拠点施設の計画は

市長／26年度工事予定

亀甲 大丸分団拠点施設の建設計画を示せ。

市長 平成26年度工事予定。



かつめ保育所

亀甲 避難所として地域防災計画に位置付けられないか。

総務部長 見直しの段階で掲載したい。

亀甲 避難所であればクーラーは災害救助法の補助の対象になるのではないか。

副市長 現状では施設のバランスがありクーラー設置は無理。大型扇風機をつけるよう努力する。
総務部長 災害が発生した場合は法を適用し設置したい。

有害鳥獣

国の助成制度の活用は

市長／周知徹底を図る



内園 知恵子 議員

内園 有害鳥獣の侵入防止柵に対し国の助成制度があるが、現在活用され



侵入防止柵を設置した田

ていない。早急に周知徹底を図り普及する考えはないか。

市長 広報紙及び農業者団体の会合などで周知徹底を図る。

内園 有害鳥獣駆除費を一括年度末支払としているが、駆除経費を要するため1～2カ月で支払う

考えはないか。

市長 猟友会から概算払い申請をしていただければ支払いは可能。

学校教室にクーラー設置の考えは

教育長／特別教室等を優先に

内園 一日の大半を学校で過ごす子どもたちが安心して過ごせる良好な教育環境を確保し、熱中症予防のためにクーラーを設置する考えはないか。

教育長 保健室、パソコン室、図書室は全校設置しており、今後も特別教室などを優先し検討したい。なお、普通教室へは扇風機を全校設置済みである。

内園 普通教室の適正温度は何度か。

教育長 28度が基準と思う。

内園 国は25～28度を適温としている。全校の普通教室の温度調査を実施し検討していただきたい。

その他の質問
○川内原発

提言に対する対応は

市長／基金を積み立てる

庁舎建設



塗木 弘幸 議員

塗木 庁舎の在り方検討委員会においては、庁舎施設は10年から20年後に新庁舎を建設する方向で年2億円ずつ基金積み立てを行う。行政サービスについては、職員数削減や財政改革を進めるため徐々に本庁方式へ移行させることと提言している

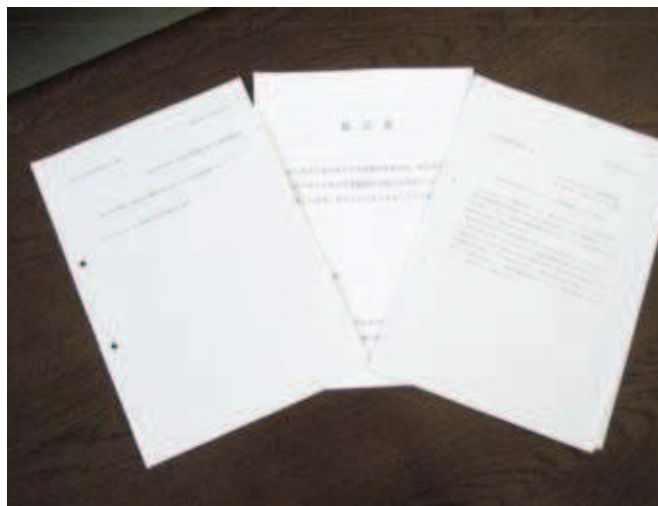
が、見解と対応を問う。

市長 平成40年頃の新庁舎完成をめざし、毎年1億円以上を積み立てる必要がある。また、本庁方式への移行に向けた準備を進める必要があると考える。

学校のあり方は

教育長／再編を検討する

塗木 学校のあり方検討委員会では、学校は一定の規模であることが望ましいとし、小学校の適正



各あり方検討委員会の提言書

規模は複式学級の解消ができる学校また、中学校の適正規模は1学年2学級以上の学校づくりを目指すとしているが対応は。

教育長 保護者や地域住民の理解を得ながら学校再編を検討する。顕娃地区中学校の再編検討委員会を立ち上げ、1回目を開催した。

その他の質問
○校区・地区公民館のあり方

議会全員協議会

～当局より説明のあった案件～

平成25年9月5日開催

◎南九州市消防署の建設候補地について

指宿市・南九州市消防広域化協議項目「消防署、分遣所の取り扱い」で承認されている「消防広域化後4年以内を目途に南九州市に消防署を建設する」の実施のため、各支所から候補地を選定しメリット・デメリットについて協議を行い、検討結果を取りまとめたうえで、消防救急の専門的立場から指宿南九州消防組合からの意見も重要であると判断し、平成25年7月11日付けで候補地に対する意見を同組合へ依頼した。その結果、消防組合から、頴娃2候補地、知覧3候補地、川辺4候補地の意見があり、これを参考に再度検討した。

- ①地理的中心地であること。
- ②候補地が市有地であり財政面で有利であること。
- ③用地買収に係る期間が必要でないこと。

これらのことから総合的に判断し、知覧地域の種苗管理センター知覧農場跡地を建設候補地として決定し計画を進めると当局から説明があった。



種苗管理センター知覧農場跡地（建設候補地）

平成25年6月28日開催

◎頴娃准看護学校の生徒募集停止について

近年は、南九州市出身の入学生も少なく卒業後に市内医療機関に就職する者も減少してきている。

募集停止を検討しなければならない最も大きな要因は、実習先の確保が非常に困難である。特に、産科・小児科のある病院の確保は、南薩地域はもちろん、鹿児島市内においても非常に厳しい状況である。

外部講師についても、近隣の病院等に打診しているが、講師の確保も厳しい。また、専任教員として必要な長期にわたる県外研修を受講できる職員及びその間の代替職員の確保も極めて難しい。

さらに、国においては、准看護師養成所から看護師養成所3年課程の設置を予定するものへの支援策として「看護師養成所3年課程導入促進事業」を導入するなど、看護師養成への移行支援を勧めている状況であり、存続は極めて困難であると当局から説明があった。



頴娃准看護学校

◎その他の案件 平成25年9月27日開催

- ・市立かつめ保育所民間移管の公募要領等について
- ・えい中央温泉センター食堂及び売店部門の賃貸借契約解除について

市の民の声



高吉 美輝

気になるTPP

額娃町でお茶農家をやっています。消費の低迷が続く中、苦戦している農家のひとりです。最近報道されるTPPの動きがどうも気になる。本当に日本の農業を守るのか。農業の盛んな南九州市にとっては一大事だ。友人たちとこんな話をする。「考えてもひとつこよ。なったごっじよ。」と一言。ある友人は南九州市のお茶のPR活動に一生懸命だ。今度は大野岳にシンガポールからお茶畑を見にッ

アー客が来るという。我が谷場地区でも若い青年たちが新茶馬拉ソンやアグリウォークなどでお茶サービスを頑張っている姿をみる。TPP参加でどうなるのか想像もできないが、農業の法人化・大型化そしてブランド化。こだわりの農業など必要になってくるのだと思う。作物によって厳しい面も出てくるのかもしれない。現時点ではどうなるかわからないため不安を感じる農家は多いことだろう。TPPが決まらないうと動きようもないことですが、南九州市でも情報を集め、市民に伝えてほしいと思う。隣の農家と競争する時代は終わったのかな。世界を相手に言う農業に変わりつつある。力を合わせて南九州市の発展に繋がればと思う。



川辺町 上山田 橋口 奈美子

そうだ、南九州市へ行こう!と思わせるまちづくり

市の人口の激減。そのような中で高速道の一部開通など、南九州市にとって、またとない集客のチャンスだと思えます。南九州市の観光客が少ない原因は、パンチの効いた観光品及び、観光名所がないことが観光客を誘致衰退の一因ではないでしょうか。南九州市のメインとなる観光地がなければ、観光農園や、体験施設などの建設も検討してみたらどうでしょう。案として地域の特色を生かした特産品の販売

や、農作物の加工体験施設。そしてその様な施設を利用し南九州市一丸となり様々なイベントを挙げ、その結果「また行きたい」と思わせるようなまちづくりの実現、そして、南九州市の各地の祭りなどでは、多数の来場者訪問の機会を逃さず、住宅情報、宅地の宣伝など積極的にやって欲しいです。市が取り組むべき課題は沢山あると思いますが、まずは南九州市に来てもらい、そして住民の定着に積極的に力を入れて頂きたいと願います。住環境が良いと判断したら子を持つ親や、定年後の生き方を模索している方は定住を視野に入れると思いますし、様々なイベントで若者が集えば若者の流出も防げるのではないのでしょうか。



議会を傍聴してみませんか。
次の議会は12月3日(火)開会予定
“手続き簡単” 本館2階で住所・氏名を書くだけ

編集後記

朝夕は、すっかり肌寒さを感じ秋の季節を迎え、まちではサツマイモ・普通米の収穫や秋番茶の摘採を目にする一方で、桜島の火山灰にも悩まされました。

また、10月16日には、台風26号による土石流により、伊豆大島では甚大な被害を受け、今後も市民の皆さまが安心・安全に生活できる体制を整えておくことの大切さを痛切に感じました。

さて、今回の議会だよりをもって広報編集委員も変わります。寄稿いただいた方、これまでご愛読いただいた方々、誠にありがとうございました。

(田畑)

▼広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 田畑浩一郎 |
| 副委員長 | 亀甲 俊博 |
| 委員 | 下窪 一輝 |
| | 西 次雄 |
| | 吉永 賢三 |